
令和6年度 横浜市交通安全 シルバーリーダー養成研修会

横浜市道路局道路政策推進課

配布資料の確認



- 次第
- 研修資料
- 反射材チラシ
- サポカーチラシ
- 免許返納チラシ
- アンケート用紙

○配布資料の確認

- ・ 次第
- ・ 3枚つづりのホチキス留めがされた研修資料
- ・ ピカピカ光って夜道も安心！と書かれたチラシ
- ・ セーフティ・サポートカーでドライブに安心を！と書かれたチラシ
- ・ 今の運転で大丈夫ですか？と書かれたチラシ
- ・ アンケート用紙

本日のカリキュラム



10:15 シルバーリーダーとしての活動について

10:30 研修(交通事故防止について)

(神奈川県くらし安全交通課)

10:40 研修(横浜市道路局道路政策推進課)

11:40 アンケートの記入

11:45 アンケート用紙回収・修了証のお渡し

第1回(午前の部)用

本日のカリキュラム



14:00 シルバーリーダーとしての活動について

14:15 研修(交通事故防止について)

(神奈川県くらし安全交通課)

14:25 研修(横浜市道路局道路政策推進課)

15:25 アンケートの記入

15:30 アンケート用紙回収・修了証のお渡し

第2回(午後の部)用

交通安全シルバーリーダーの活動について



シルバーリーダーとは

交通安全シルバーリーダーは、高齢者の交通安全に理解と熱意があり、区長の推薦を受けて横浜市が行う研修を修了した者とする。

本日の研修を受講いただくと、皆さんは「交通安全シルバーリーダー」となります。

交通安全シルバーリーダーは「高齢者交通安全指導者」のことを言い、地域で交通ルールやマナーの周知・啓発を率先して行っていただくこととなります。

では、交通安全シルバーリーダーとして、具体的に皆さんにどのような活動を行っていただくのかご説明していきます。

交通安全シルバーリーダーの活動について



活動内容

○シニアクラブや町内会等の地域において、交通事故防止についての話し合いを主宰し交通ルールやマナーについて周知する。

活動内容の1つ目

皆さん、シニアクラブ・老人会、自治会・町内会などに所属されていらっしゃる方が多いかと思います。

交通事故防止についての話し合う会合を開催するというのは、なかなかハードルが高いかもしれませんが、何かのイベントと抱き合わせでも構いません。交通ルールの周知をするとともに、どうすれば交通事故を防止できるか、などの話し合いをしていただきたいと思います。

交通安全シルバーリーダーの活動について



活動内容

○地域等での集会、文化活動等の機会を利用して、交通安全についての啓発を行う。

活動内容の2つ目

先ほど、何かのイベントと抱き合わせでも構いませんとお話ししましたが、地域の集まりの際などに、交通安全の啓発を行っていただきたいと思います。
たとえば、とある地域では障がい者スポーツ「ボッチャ」のイベントと同時に交通安全DVDの視聴を行っているそうです。

また、会合がある際にほんの数分だけ交通安全についてお話しいただくなどでも構いません。

「横断歩道があるときは、横断歩道を渡ること」「信号を守ること」「自転車はクルマの仲間」など、基本的なことをお伝えいただくほか、普段ご自身で“危険だな”と思ったエピソードをお話しいただくのも効果的かと思います。

例) 歩道を歩いていたら自転車が猛スピードで走ってきてぶつかりそうになった…などの経験

交通安全シルバーリーダーの活動について



ピカピカ光って 夜道も安心!

**夕方・夜間も
明るい服装で反射材を身につけましょう!**

約26mで認識可能
約38mで認識可能
約57m以上から認識可能

歩速60km/hの車がブレーキをかけ止まるまでの距離は、約4.4m*が必要です。

横浜市・横浜市交通安全対策協議会

セーフティ・サポートカーで ドライブに安心を!

ペダルの踏み間違いやブレーキ操作の遅れなどの操作誤りは、重大な交通事故につながる恐れがあります。そうした操作誤りを補完し、安全運転を支援するための衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い加速抑制装置等を搭載した車を、安全運転サポート車といわれます。

その機能に車種「セーフティ・サポートカー（サポカー）」「セーフティ・サポートカー-S（サポカー-S）」といわれます。

*サポカー-Sは旧称で、サポカー-Sは現在高齢者に推奨されています。

たとえば「サポカー」に乗っていれば…

渋滞の発生後、ブレーキを踏むのが遅れてしまった
このとき **サポカー** に乗っていれば…
衝突被害軽減ブレーキが、ブレーキ操作を補助!

ブレーキを踏んだつもりでアクセルを踏んでしまった
このとき **サポカー-S** に乗っていれば…
ペダルの踏み間違いを感知! 急発進・急加速を防止!

ところで「サポカー」に試乗してみよう!

各ディーラーなどで、サポカー試乗体験を実施しています。実際に見て、触れてみることで、サポカーの有効性をより深く知ることが出来ます。

※新型コロナウイルスの影響で試乗体験を取りやめている場合があります。
※試乗体験に関する最新情報は、経済産業省のホームページをご覧ください。

サポカー、サポカー-Sに搭載されている交通安全情報は、交通事故の防止や警察の捜査に役立ちますが、一定の条件のもとで有効なものではありません。
条件によっては作動しない場合もあります。運転せず、安全運転をお願いします。

横浜市・横浜市交通安全対策協議会

高齢ドライバーによる事故が発生しています 今の運転で大丈夫ですか?

感覚機能の低下による判断ミス
反射神経の衰え
運転技術への過信

**体調に不安を感じたら運転しない
心と時間にゆとりを持った運転を**

運転時継続指針チェックリスト

- 車のキーや免許証を忘れずに持ち出すことができる。
- 運転開始の準備が整っていないことがある。
- スーパーなどの駐車場で自分の車を止められなくなる可能性がある。
- 急な急停車をしなければならない可能性がある。
- 車で出かけた時に他の交通手段で帰ってきたことがある。
- アクセルとブレーキを間違えることがある。
- 歩行者用横断歩道に歩行者を押しやることもある。
- 前方直進車線変更時に歩行者が歩道に入ることがある。
- 右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみづらくなる。
- 警察官を一定に気づくことが難しくなる。
- 合流が難しく歩道に入る。
- 駐車場のラインや、方向に合わせて車を停めることが難しくなる。
- 交差点での右折時に歩行者や自転車の影に隠れて気づくことが多くなる。
- 運転している間に主視界が狭くなる目があったりすると車の手が真っ白になる。
- 同乗者は高齢者以外の運転士が少なくなっている。

2つ以上の項目にチェックが入る人は要注意です。
認知症予防や安全運転につとめ、気になる方は
専門家の受診を検討しましょう。

横浜市・横浜市交通安全対策協議会

活動内容の2つ目 続き

(反射材チラシ、サポカーチラシ、免許返納チラシを見せながら)

また、本日お渡ししたこちらのチラシをコピーしお渡しいただくなどにより啓発いただくのも効果的だと思います。

普段交通安全に関心のない方にお伝えすることが、地域のさらなる安全につながっていくと思いますので、ぜひ積極的に啓発していただければと思います。

交通安全シルバーリーダーの活動について



活動内容

○反射材や目立つ色の服等を自ら率先して着用するとともに、地域の高齢者の着用を促進する。

続けて、活動内容の3つ目

特に秋から冬にかけてのこの時期は、日が暮れるのが春から夏に比べて早くなっています。

暗い時間帯では、歩行者や自転車はドライバーから発見されにくく、事故に遭いやすくなりますが、反射材を身に着けたり、明るい色の服を着用したりすることで、ドライバーに気づかれやすくなる効果があります。

走っている車がブレーキをかけて完全に止まるまでには時間と距離がかかります。速度が落ちる過程でも車は進み続けるので、すぐには止まれません。路面状況や車の重さなどにもよりますが、時速60キロで走行している車がブレーキをかけて止まるまで、約33メートルから45メートルほど必要と言われています。

夕暮れから夜間にかけての交通事故を防ぐためには、いかに早くドライバーから視認されるかということが大切か、お分かりいただけただけでしょうか。皆さん自身が反射材を活用し、明るい色の服を着用していただくとともに、周囲の方々へも、ぜひこの話をお伝えいただければと思います。

交通安全シルバーリーダーの活動について



活動内容

○地域等における各種交通安全運動や市・区から要請された活動に参加、協力する。

駅前、街角、商店街などで、「交通安全運動」のキャンペーンを見かけたこともある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

もしかすると、定期的にキャンペーンに参加いただいている方もいらっしゃるかもしれません。

参加したことはないが興味がある…という方は、各区役所を中心に実施している交通安全活動に、積極的にご参加いただければと思います。

いまお伝えした活動内容は一例であり、その他の活動を限定するものではありません。

地域の皆さんが交通事故の加害者や被害者にならないための活動であれば、どのようなことでも、シルバーリーダーとして大切な活動となると思います。

交通安全シルバーリーダーの活動について



- サポカーチラシについて
- 免許返納チラシについて



- ・大切な交通手段である車、その一方で交通事故のリスクもある
- ・交通事故のリスクを軽減してくれるサポカー、お金はかかりますが安心を買う意味でも、乗り替えの検討を
- ・運転に不安がある方やご家族、知人の方は、相談窓口（#8080で地域の管轄の警察署につながります）

皆さんご自身のお話だけでなく、地域の皆さん、ご近所の方、親戚の方など、皆さんの周りで車を運転する方へお伝えいただきたいと思います。

交通安全シルバーリーダーの活動について



〇はたふり、みまもり活動について



日頃から、通学路において登下校中の子どもたちの見守り活動、はたふり誘導活動を実施いただいている方、いらっしゃいますでしょうか？

通学路においてはたふり活動を実施される方に向けて、安全な誘導方法・誘導のポイントをお伝えする動画がありますので、まずはご覧ください。

動画の中でもありましたように、子どもの特性を理解しサポートすることで、交通事故に遭うリスクを減らすことができます。

はたふり活動・見守り活動をする方はもちろん、そうでない方も、道路でお子さんが歩いているのを見かけたときに意識していただき、危険な場面に遭遇した際は、「車が来ているよ」などと声をかけ、子どもたちのサポートをしてあげてください。

また、誘導者自身が安全を確保することも大切です。

誘導者が事故に遭ってしまうと、子どもたちを守ることができなくなるほか、近くにいる子どもたちも事故に巻き込まれる危険もあります。

歩道がある道路で子どもたちを誘導する際は、車道に出ずに歩道で誘導をしていただくようお願いいたします。

インターネットを使われる方は、「横浜市 はたふり動画」と検索いただくと、この動画をYouTubeで視聴いただけます。

動画を活用して、より安全に子どもたちを見守っていただくとともに、ぜひ、周囲の方へもこの動画を勧めていただけますと幸いです。

地域の子どもたちを守るため、皆さまご協力、よろしくお願いいたします。

交通安全シルバーリーダーの活動について



〇はたふり、みまもり活動について

通学路のはたふり誘導 - YouTube

https://www.youtube.com/watch?v=1SR33_WJfu0

最後に、はたふり活動・見守り活動についてお話しさせていただきます。

通学路においてははたふり活動を実施される方に向けて、安全な誘導方法・誘導のポイントをお伝えする動画がありますので、まずご覧ください。

動画の中でもありましたように、子どもの特性を理解しサポートすることで、交通事故に遭うリスクを減らすことができます。

はたふり活動・見守り活動をする方はもちろん、そうでない方も、道路でお子さんが歩いているのを見かけたときに意識していただき、危険な場面に遭遇した際は、「車が来ているよ」などと声をかけ、子どもたちのサポートをしてあげてください。

また、誘導者自身が安全を確保することも大切です。

誘導者が事故に遭ってしまうと、子どもたちを守ることができなくなるほか、近くにいる子どもたちも事故に巻き込まれる危険もあります。

歩道がある道路で子どもたちを誘導する際は、車道に出ずに歩道で誘導をしていただくようお願いいたします。

普段インターネットを使われる方は「横浜市 はたふり動画」と検索いただくと、この動画をYouTubeで視聴いただけます。

動画を活用して、より安全に子どもたちを見守っていただくとともに、ぜひ、周囲の方へもこの動画を勧めていただけますと幸いです。

地域の子どもたちを守るため、皆さまご協力、よろしく願いいたします。